

皇太子
徳仁親王殿下
今上陛下第一皇子
【誕生】
昭和三十五年
二月二十三日
【称号】
浩宮(ひろのみや)
【お印】
梓(あずさ)

今月の祭日・行事

いとけなき
いやされつ
世をねがふなり
皇太子 徳仁親王殿下
なるひとしんのう
吾子の笑まひに
子らの安けき
―平成十八年歌会始お題「笑み」―

「紀元祭」への誘ひ「知識への神道」

第一代天皇神武天皇が、葦原中津国(あしはらのなかつくに)(注:日本の別称)を平定され、大和(奈良県)の橿原(かしはら)宮で御即位された「辛酉(かのと)とり」年春正月庚辰朔(かのえたつついたち)の日を日本の紀元として祝うお祭りを紀元祭といえます。現在では現行曆に合わせ算定した二月十一日があてられ「建国記念の日」と定められております。本年は、わが国建国二六七九年目を迎えます。

日本の皇位継承「万世一系」

因りて、皇孫に勅して曰はく、「葦原の千五百秋の瑞穂の国は、是、吾が子孫の王たるべき地なり。爾皇孫、就でまして治せ。行矣。宝祚の隆えまさむこと、当に天壤と窮り無し」

右記は日本神話「天孫降臨」の一段、天照大神が天孫瓊瓊杵尊に授けた『天壤無窮の神勅』です。天壤無窮というのは、天皇の御位は天地とともに無限であることを確定したものであり、皇位の基本となる大事な神勅です。神勅は瓊瓊杵尊から火折尊、鸕草葺不合命と日向三代の御代を経て第一代天皇・神武天皇に継承されます。神武天皇ご即位より二六七九年、連綿と皇位は引継がれ百二十五代今上陛下の御代にあつても不変なことは、系図の父系を遡ることです。神武天皇に繋がる一系の血脈、これを「万世一系」と言い、世界に類の無い日本の皇室の特徴であり、守るべき所以です。

紀元祭(十一日) 本年は、皇紀二六七九年。天皇陛下御在位三十年記念式典(二十四日)

建国をしのび、国の誕生を祝い、国を愛する心を養いましょう。国民の奉祝の万歳で今上陛下御在位三十年をお祝いいたしましょう。

